

報告日 令和7年8月26日
報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	兵庫県教育委員会 淡路教育事務所			代表者名	葛西 富久美
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	教育振興課	連絡先電話番号	0799-26-3205
担当者役職	情報教育専門推進員	担当者氏名	武田 大和	連絡先E-mail	
住所	656-0021 兵庫県洲本市塩屋2丁目4番5号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	淡路地区情報教育研修会
概要	小中学校教員を対象に、ICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりにについての助言をいただきたい。また、実践力と校内リーダーの育成を図るため、研修内で作成した指導案への講評をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 教育情報化／情報教育		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月21日	講演(実地)	14時00分	16時30分	10
				活動時間（分）	140
2-2.	会場名	兵庫県立淡路文化会館		最寄駅	伊弉諾神宮前
派遣場所	所在地	兵庫県淡路市多賀600		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	- 非常にわかりやすく納得感があり、教育の本質や情報活用能力の重要性について、理論的かつ実践的に学べた。 - 日本の教育の現状と課題に触れ、教育DXの必要性を再認識することができた。 - 子どもたちが主体的に学ぶためには、まず「学び方」を教える必要があるという認識が広がった。 - 情報活用能力は、読み書き計算と同等の基礎力として捉えるべきという認識が広がった。 - 机の配置や教師の役割など、授業のデザインそのものを見直すきっかけになった。
アドバイザーへの要望事項	理論に加え、演習や模擬授業等の実践形式の研修も実施していただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1.	支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	60人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	60		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	GIGAスクール構想により、一人一台端末や校内ネットワークなどのICT環境整備は整ってきている。しかし、教員のICT活用能力には差があり、端末を効果的に活用した授業実践は十分とは言えない状況である。また、学校間や教員間でICT活用や教育観にばらつきがあり、先進的な実践を行う学校と、そうでない学校との間で、児童生徒の学びに格差が生じていることも課題である。ICTを活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりができる教員の育成が急務となっている。
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	本支援を通じて、教員がICTを効果的に活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる授業づくりを実現することを目指す。これにより、主体的・対話的で深い学びの推進が可能となり、児童生徒の学習意欲や理解の深化につながる事が期待される。 アドバイザーからは、授業タイプごとの役割や具体的な実践例を交えた指導を受けることで、教員が自校の実情に応じた授業設計力を高める。また、ICTの活用法について実践的な視点から助言を得ることで、教員が自信をもってICTを取り入れた授業を展開できるようになる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	アドバイザーより、次期学習指導要領における情報活用能力の位置づけや、GIGAスクール構想の本質について、理論的かつ実践的な視点から講義を受けた。特に「学び方を教えることの重要性」や「授業スタイルの変容」、「情報活用能力の重要性」など、教育現場で即活用可能な知見を多数提供いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	参加者の多くが、情報活用能力を読み書き計算と同等の基礎力として捉える意識を持つようになり、授業改善の方向性を明確にすることができた。また、児童の主体的な学びを促すためには、まず「学び方」を教える必要があるという認識が広がり、校内研修や授業づくりに活かしたいという前向きな声が多く聞かれた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回は社会背景や理論を中心にご講義いただいたので、具体的な実践までは研修が進まなかった。第2回の研修では、今回の内容をベースに、実践的な指導案作りの演習を取り入れた研修を行う予定である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者の多くが、今後の授業改善や校内研修に活かしたいという前向きな姿勢を示しており、研修の成果は高いと評価できる。一方で、より実践的な内容や協議の設計に関する改善点も明らかとなった。次回以降の研修では、これらの声を反映し、より効果的な学びの場としていきたい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	ICTを効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりができる教員を、各学校に少なくとも1名配置する。さらにその教員が校内研修を通じてリーダーシップを発揮し、学校全体に主体的・対話的で深い学びを推進する環境づくりを図る。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

☐掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

